

「高齢」は速足でやってきます 「若さゆえ」が時には倍返しにも

中国・四国支部事務所長 成光一夫



日遊協広報誌への投稿につきま
しては、つい先頃1回目が終了し、
まだまだ先と安閑としていたとこ
ろですが、容赦の無い執筆命令に、
「えっ早」と戸惑った次第です。
月日の経つのは早いもので、当
協会にお世話になってから、4年
を経過し、最終年を迎えることと
なりました。
何の縁もゆかりもないはずの素
人を業界に雇用していただき、さ
まざま経験を積ませていただき、
ただ感謝あるのみです。

過ぎてみれば年月の経つのは早
いもので、私も65歳となり、自分
ではその自覚はさほどなく、まだ
まだと思う気持ちも強いのですが、
高齢者の仲間入りとなりました。
一線から身を引き第二の職場
の退職も間近となり、とりあえず
次をどうするのか、いろいろと考
えをめぐらせているところです。
「人生は一発勝負、やり直しはき
かない」と先達から聞いたことが
ありますが、全くそのとおりで、
今までの過去を振り返り、ああも
しておけば良かった、こうもして
おけば良かった
反省しき
りです。
今回は、
当業界の
若い世代
の会員会
友の皆様
に、誠に
僭越至極
なことと
承知の上
で、私自
身が高齢者となった今の心境を述
べてみたいと思います。



高齢化。それは、
おのずと収入の道が
閉ざされ仕事のない
日々の連続で、配偶
者との歩みは穏やか
か、健康維持は大丈
夫か、などという心
配が現実となります。
若い働き盛りの時
代は、自らの将来(高
齢化)について漠然
とは考えてはいても、
目先のことにとらわ
れがちで、真剣にこ
うした思いには至らなか
ったように思います。
先ほども記したとおり、
人生は、一発勝負でやり
直しはききません、今か
ら、自分の将来に備えて
の着実な生活設計が必要
です。
自らの高齢化は、過ぎ
てしまえば意外と早くや
ってきます。
その時になってバタバ
タしても間に合いません。
また、若いときの有り様
は、自分にそのまま(時には倍返
しで)返ってきます。



中国・四国支部のデスクで執筆する成光一夫事務所長

将来に備えての、
お金：年金プラスアルファ
配偶者とともに：絶え間のない
配偶者への思いやり
健康維持：早め早めの健康診断
などの配慮が是非とも必要となり
ます。
家族などと話し合い、協力の下、
早め早めの着実な備えが必要と思
います。
賢明な皆様方には、ひとりよが
りのことで失礼とは思いましたが、
若い皆様方の大成をお祈りすると
ともに、万全な将来設計の参考に
なればと思い、敢えて申し上げます。
した。